

平成 29 年度 航空大学校学生募集要項

1. 教育の内容、募集人員及び入学時期

航空大学校では、航空機の操縦に関する学科及び技能を教授し、航空機の操縦に従事するものを養成することにより、我が国の安定的な航空輸送の確保を図ることを目的として、将来のパイロットを養成します。

(1) 航空大学校での教育内容等

飛行機操縦科	教育内容	教育期間
宮崎学科課程	学科座学	24ヶ月
帯広フライト課程	単発機操縦演習	
宮崎フライト課程	単発機操縦演習	
仙台フライト課程	多発機操縦演習	

(注) 上記の教育期間のほか、訓練の状況により自宅待機期間が発生する場合があります。

(2) 募集人員 飛行機操縦科 72名以内

(3) 入学時期 6月、9月、12月及び翌年3月の年4回に分かれて入学することとしており、入学時期は、入学者の希望等を考慮して航空大学校理事長が決定します。

(注) 上記の「入学時期」については変更する場合があります。

2. 出願資格

航空大学校に出願できる者は、平成4年4月2日から平成9年4月1日までの生まれで身長が158cm以上の者であって、次のいずれかに該当する者としてします。

なお、過去に当校を受験し、第二次試験において不合格となった者は、一部の例外者（※次頁に記載）を除き出願することができません。

- (1) 学校教育法による修業年限4年以上の大学に2年以上在学し、全修得単位数が62単位以上の者
- (2) 学校教育法による短期大学又は高等専門学校を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程の修了者に対する専門士及び高度専門士の称号の付与に関する規程による専門士又は高度専門士の称号を付与された者
- (4) 平成29年3月末までに(1)、(2)又は(3)となる見込みの者
- (5) (1)、(2)又は(3)に掲げる者と同等以上の学力を有すると航空大学校理事長が認める者

平成28年度航空大学校入学第二次試験における身体検査A受験後、身体検査Bの対象とならなかった者の中で、航空大学校理事長から第二次試験（身体検査A）結果通知書を交付された者は、再受験が可能です。

国の航空身体検査基準の変更に伴い、過去における第二次試験不合格者の中に屈折矯正手術※後、一定の条件を満たすことによって再受験が可能となる者がいます。

※国土交通大臣の判定を要する術式を除く。

詳しくは航空大学校教務課（電話：0985-51-1324）までお問い合わせください。

3. 出願手続

(1) 出願書類

必要な出願書類は、当校ホームページからダウンロードし、A4サイズの白紙にプリントアウトしてください。【厳守】

書 類 等	摘 要
願書送付宛名票	出願書類送付用宛名票（角形二号封筒に貼付）
入学願書・1通	・記入要領を参照して必要事項を記入してください。
入学検定料払い込み証明書 【入学検定料】 40,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料は、以下の指定口座に受験生氏名で振込んでください。【振込手数料は、受験生負担となります。】 <p>振込先銀行：宮崎銀行 本店 口座番号：普通口座 7931 口座名：航空大学校（コウクウダイガッコウ） 金額：40,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料払い込み確認票に入学検定料を振り込んだことを証明する領収書等（原本）を貼付してください。
受験票・1通 写真票・1通	<ul style="list-style-type: none"> ・必要事項を記入し、本人の写真を所定欄に貼付してください。 ・写真は正面上半身脱帽（縦5cm×横4cm）で、出願前3ヶ月以内に撮影したものを使用し、裏面に氏名、生年月日を記入してください。
受験資格確認のための書類 （学校の証明印が無いものは無効） 1通	<ul style="list-style-type: none"> ・次の各号のいずれかに該当する書類 <ol style="list-style-type: none"> ① 高専、短大、大学及び専修学校専門課程を卒業した者は、卒業証明書。専修学校専門課程を卒業した者は更に専門士又は高度専門士称号授与書の写し。 ② 高専、短大、大学、専修学校専門課程を卒業する見込みの者は、平成28年3月末日までの成績証明書又は単位取得証明書。 ③ 大学2年以上修了した者又は大学2年修了見込みの者は、平成28年3月末日までの成績証明書又は単位取得証明書。 ④ 出願資格の(5)に掲げる者は、出願資格の(1)、(2)又は(3)に掲げる者と同等以上の学力を有することを証明する書類。 ⑤ 外国の大学が出身校で、成績証明書又は単位取得証明書が外国語で記載されている場合は、和訳を添付してください。また、高等学

	<p>校からの学歴を記した書面を別途添付してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度航空大学校入学第二次試験における身体検査A受験後、身体検査Bの対象とならなかった者で、航空大学校理事長から第二次試験（身体検査A）結果通知書（平成27年11月6日付）を交付された者にあつては、その写しを提出してください。なお、通知書を紛失した場合は航空大学校教務課（電話：0985-51-1324）までご連絡ください。 外国籍の者にあつては在留カードの写し（両面）又は市区町村長の交付する住民票。日本国内に居住地がない者はパスポートの氏名・国籍・顔写真の写しを提出してください。 写しはA4サイズの内紙で提出してください。
受験票送付用封筒 (362円分の切手)	<ul style="list-style-type: none"> 長形3号封筒（120mm×235mm）に切手（362円分）を貼付し、受験票送付先の住所・氏名を記載してください。 表面に速達・受験票等在中と朱書してください。

- ・ P 5 記載の第二次試験の検査基準を満たしているか、予め最寄りの検査可能な機関にて検査確認して頂くことをお勧め致します。

(2) 出願方法等

- ① 入学検定料を納入後、角形二号封筒（A4サイズを折り曲げずに入る大きさ）に出願書類を封入し、所定の期日までに持参又は郵送してください。送付に当たっては送付封筒用の宛名票を当校ホームページからダウンロードし、出願者氏名・住所を明記した上、封筒に貼付してください。なお、郵送する場合は、必ず「特定記録」及び「速達」としてください。
- ② 出願書類等に不備がある場合には受理しないことがありますので、十分注意してください。
- ③ 出願書類受理後は、いかなる事情があつても出願書類の返還は行いません。また、特別の事情によりやむを得ないと航空大学校理事長が認める場合を除き、記入事項の変更はできません。
- ④ 出願手続等において不正な行為があつた場合（虚偽の申告をした場合、出願資格が無いことが後日判明した場合等）は、入学試験の合格又は入学を取り消すことがあります。

(3) 出 願 先

〒880-8580 宮崎市大字赤江字飛江田652番地2
航空大学校 教務課
電話：0985-51-1324

(4) 出願受付期間

平成28年5月23日（月）から6月24日（金）まで。

- (注) 1. 出願書類を持参する場合は、土曜日、日曜日、祝祭日を除き、午前9時から午後5時まで受け付けます。
2. 出願書類を郵送する場合は、平成28年6月24日（金）の消印のあるものまで受け付けます。

4. 受験票の交付

受験票は、出願受付期間終了後、本人あてに送付します。

平成28年7月12日（火）になっても受験票が届かないときは、航空大学校教務課までお問い合わせください。

なお、受験票は第三次試験まで使用しますので、大切に保管してください。

5. 入学試験の方法

(1) 試験科目

第一次試験：総合Ⅰ（筆記）、英語（筆記、リスニング）、総合Ⅱ（筆記）

第二次試験：身体検査A（心理適性検査を含む）
身体検査B（脳波検査）

【対象者は第一次試験合格者に限る】

第三次試験：面接試験及び飛行訓練装置による操縦適性検査

【対象者は第二次試験合格者に限る】

(2) 試験日程

第一次試験：平成28年7月24日（日）

第二次試験：①身体検査Aは平成28年8月27日（土）から9月4日（日）までの間で指定する日

②身体検査Bは平成28年11月19（土）から11月20日（日）までの間で指定する日

※身体検査B対象者については身体検査Aに適合した者の中から選考します。対象者へは同検査実施日の1週間前までに書面で通知するとともにホームページ上にて受験番号を掲示します。

③身体検査Aに適合しながら身体検査Bの対象とならなかった者については、次年度以降の再受験を認めることとし個別に通知します。

第三次試験：平成29年1月13日（金）から1月20日（金）までの間で指定する日

(3) 試験地

第一次試験：札幌市、岩沼市、東京都、大阪市、福岡市及び宮崎市

第二次試験：別途、当校ホームページに掲載します。

第三次試験：宮崎市

(4) 第一次試験の出題形式と試験時間及び配点

①出題形式 総合Ⅰ：操縦士として必要な判断・処理能力（計算処理、空間認識、確率、資料の読取等）及び自然科学の基礎的知識についての試験をマークシート方式で行います。

英 語：読解、語彙、熟語、リスニングについて行います。

総合Ⅱ：時事問題を含む社会常識及び数学（数と式、二次関数、二次方程式、三角比、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分、平面図形、ベクトル等）、自然科学（気象、力学、熱力学、波動、電気と磁気等）の一般知識を問う試験をマークシート方式で行います。

②試験時間 総合Ⅰ：50分、英語：90分、総合Ⅱ：90分

③配 点 総合Ⅰ：100点、英語：100点、総合Ⅱ：150点

(5) 第二次試験（身体検査）

1 身体検査Aの項目

- ①一般
- ②呼吸器系
- ③循環器系及び脈管系
- ④消化器系（口腔及び歯牙を除く）
- ⑤血液及び造血器系
- ⑥腎臓、泌尿器系及び生殖器系
- ⑦運動器系
- ⑧精神及び神経系（脳波を除く）
- ⑨眼
- ⑩視機能
- ⑪耳鼻咽喉
- ⑫聴力
- ⑬口腔及び歯牙
- ⑭総合

2 身体検査Bの項目

精神及び神経系（脳波）

3 検査基準

身体検査については、第1種航空身体検査基準を踏まえて身体検査を行い、身体検査の結果及び第1次試験の結果を総合的に勘案し判定します。第1種航空身体検査基準については航空法施行規則第61条の2を確認してください。電子政府の総合窓口（<http://www.e-gov.go.jp/>）の法令検索からアクセスできます。

* 屈折矯正手術既往歴のある方は願書提出時に「平成29年度 航空大学校入学願書」に手術歴を記入してください。

また、該当者のうち一次試験合格者は更に、眼科専門医が作成した診断書の提出が必要になります。診断書は術後6ヶ月以降のもので、以下の①から⑥について数値やグラフを用いた具体的な所見及び評価が含まれているものとします。

- ①手術記録を含む臨床経過
- ②視機能の安定
- ③視力の日内変動（同日の朝昼晩3回以上の測定結果）
- ④コントラスト感度（明所・暗所）
- ⑤グレアテスト
- ⑥角膜形状解析

診断書の作成時期は平成28年8月5日（一次試験合格発表日）以降で、提出期限は平成28年9月9日（消印有効）です。

(6) 入学者の選抜

第一次試験から第三次試験までの試験結果に基づき、募集人員の範囲において選抜します。

6. 受験の際の注意事項

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- (2) 第一次試験においてマークシート方式による解答用紙を使用する科目がありますので、必ずHBの鉛筆、消しゴム、手動式鉛筆削り等を持参してください。なお、計算機能の付いている時計は持ち込むことができません。また、携帯電話等は試験会場に入る前に必ず電源を切ってください。
- (3) 試験会場への車の乗り入れ及び駐車は禁止します。
- (4) 航空大学校では、受験時の宿泊所は斡旋しないので、各自で確保してください。

7. 合格者発表

- (1) 発表日時及び発表方法

区 分	日 時	発 表 方 法
第一次試験	平成28年 8月 5日（金）10時	左記日時に、以下の場所及びホームページ上で合格者の受験番号を発表するとともに、合格者には合格通知書を本人あてに送付します。なお、不合格者に対する通知は5.(2)③を除き行いません。
第二次試験	平成28年12月14日（水）10時	
最 終	平成29年 1月31日（火）10時	

発 表 場 所：航空大学校（宮崎市）、航空大学校帯広分校（帯広市）、航空大学校仙台分校（岩沼市）

ホームページアドレス：<http://www.kouku-dai.ac.jp/>

- (2) 電話による可否の問い合わせには応じません。
- (3) 合格通知書の遅配も予想されますので、可否は発表場所での掲示かホームページ上で確認してください。
- (4) 最終合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類を本人あてに送付しますので、同封の「入学手続案内」により、入学手続を行ってください。
- (5) 外国籍の者は、入学までの間に就学可能な在留手続を行ってください。
- (6) 追加合格者の発表
募集定員に満たない場合には、追加合格者の発表を行うことがあります。追加合格後の手続きについては、電話等により本人に連絡します。
- (7) 合格後、入学までの間に第1種航空身体検査基準を満たさなくなった者又は(5)に掲げる手続の完了が見込まれない者については、合格を取り消す場合があります。

8. 入学手続及び入学料、授業料及び寄宿料等

- (1) 最終合格者は、合格通知とともに同封された入学手続関係書類に基づき、指定された期間内に入学料の納付を含む入学手続をしてください。
入学手続書類において指定された期間内に入学料の納付を含む入学手続を完了しない者は、入学を辞退した者として取り扱います。

- (2) 入学料、授業料、寄宿料等は以下のとおりです。

- ① 入学料・・・・・・・・・・ 282,000円
- ② 授業料年額・・・・・・・・・・ 804,000円
- ③ 施設設備費・・・・・・・・・・帯広フライト課程 250,000円
宮崎フライト課程 250,000円
仙台フライト課程 300,000円
- ④ 寄宿料月額・・・・・・・・・・ 1,500円
- ⑤ 光熱水料、食費等・・・・実費

- (注) 1. 入学手続期間内に入学料を納付した者が、入学日までに入学を辞退した場合には、いかなる理由があっても既納された入学料は返還しません。
- 2. 入学料・授業料・施設設備費・寄宿料等は改定される場合があります。
- 3. 入学後は、原則として全員入寮しなければなりません。入学直後には制服代等で、約8万円程度必要となります。学生寮における光熱費、食費（平日約1日1,500円程度）等は、全て学生負担となります。このほか、国家試験受験費用（事業用操縦士、計器飛行証明）及び受験会場（東京・大阪）までの交通費、操縦練習許可身体検査・航空身体検査受診費用（1回約3万円程度）、宮崎本校から分校への移動交通費等が必要となります。
- 4. 奨学金を必要とする学生には、選考のうえ、一般財団法人航空振興財団から毎月一定額（月額6万円）の貸与を受けることができます。

9. 無線資格

航空大学校の学生は管制機関と交信を行うため無線通信に係る資格が必要になります。無線資格には「航空特殊無線技士」と、その上位である「航空無線通信士」があります。宮崎学科課程から帯広フライト課程へは「航空特殊無線技士」以上の資格がなければ進級できません。資格を持っていないと退学になります。

また、その後の宮崎フライト課程を修了するまでに「航空無線通信士」の資格が必要になります。どちらも、無資格の人であっても直接受験できますので入学までに取得しておくことを推奨します。

10. その他参考事項

- (1) 受験時に、大学2年修了、短期大学、高等専門学校卒業又は専門士、高度専門士の称号取得見込みの資格で受験し、合格した者については、平成29年3月末日までに定められた単位数の取得、卒業又は専門士、高度専門士の称号取得の要件が満たされないときは、入学を許可しません。
- (2) 航空大学校飛行機操縦科の卒業生は、事業用操縦士（飛行機・陸上単発及び陸上多発）の技能証明及び計器飛行証明の実地試験が免除されます。また、航空英語能力証明の国家試験においても学科試験が免除されます。
- (3) 航空大学校は、学校教育法による学校ではないので、履修した単位は他の大学又は学校の単位として認められません。
- (4) 入学試験及び入学後の授業等では主として日本語を使用します。

平成29年度航空大学校入学試験（第一次試験）

1. 試験日 平成28年7月24日（日）

2. 試験科目及び試験時間

試験科目	試験時間
総合Ⅰ	9:00～9:50
英語	10:20～11:50
総合Ⅱ	13:00～14:30

3. 集合時間等

- (1) 8時30分までには試験会場に入室してください。
- (2) 各科目とも、試験開始10分前には指定された席に着席してください。
- (3) 「総合Ⅰ」「総合Ⅱ」の科目については、試験開始後30分を経過すれば退室可能ですが、一度退室すると当該科目の試験が終了するまでは入室できません。

4. 遅刻者の取り扱い

各科目試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

5. 試験会場

- 札幌 札幌市中央区南2条西2丁目 TOGASHIビル6F
札幌コンファレンスホール
(地下鉄大通駅より徒歩3分)
- 岩沼 宮城県岩沼市下野郷字新拓1番地7
航空大学校仙台分校
(仙台空港からタクシー5分又は徒歩20分)
- 東京 東京都港区赤坂2丁目14-27 国際新赤坂ビル東館13F
TKP赤坂駅カンファレンスセンター
(東京メトロ千代田線「赤坂駅」(5a出口)徒歩1分 他)
- 大阪 大阪府大阪市北区南扇町3-16
関西テレビ電気専門学校
(地下鉄堺筋線「扇町駅」(5番出口)下車徒歩3分)
- 福岡 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル

(JR鹿児島本線「吉塚駅」(東口)下車徒歩1分)

宮崎 宮崎県宮崎市大字赤江字飛江田652-2
航空大学校(JR「南宮崎駅」下車、宮交シティ4番バス乗り場
から「飛江田団地」行きで、「赤江浜入り口」下車、徒歩10分)

※ 試験会場(航空大学校を除く)への直接のお問い合わせは、御遠慮ください。